



# Japan Heart for SDGs

企業の皆様からの支援事例集





Japan  
Heart

## ジャパンハートとは

「医療の届かないところに、医療を届ける」を理念に、2004年に日本で設立された国際医療NGOです。

ミャンマー、カンボジア、ラオスの3カ国で無償での医療提供を行うほか、現地での医療人材育成や技術移転、児童養育施設の運営、障がい者の自立制度の整備などに尽力しています。

日本国内では、医療人材が不足しがちな離島・僻地向けの人材仲介や、治療が長引きがちな小児がん患者のため、医療者による外出支援などに取り組んでいます。

また、国内外の災害発生時に、医療チームを派遣する国際緊急救援活動も実施。自然災害だけでなく、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生時にも支援を行っています。





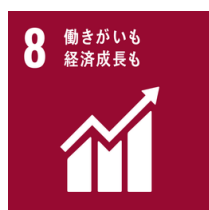
Japan  
Heart

## 企業・団体の皆様との協働

ジャパンハートでは、企業・団体の皆様とお互いの特長を活かした協働によって、「医療の届かないところに医療を届ける」活動に取り組んでいます。企業・団体のご希望と、私たちの活動地でのニーズのマッチングにより、最適なお支援方法や、貴法人ならではのプロジェクトを提案いたします。

わたしたちは国内・海外の両方で、医療だけでなく教育や人材育成などにも取り組んでいるため、ジャパンハートへのご支援はSDGsのさまざまなゴールの達成につながります。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS



# さまざまなご支援の形

ご支援法人数  
1,135法人  
(2022年7月現在)

## 現金によるご寄付

ジャパンハートの活動全般、あるいは特定の事業分野を指定してのご寄付を受け付けています。

## 自社製品・サービスの活用

貴法人の業態やサービス、特長などを生かしたご支援です。  
医療機器・医療器具など、商品や製品のご寄付も歓迎しております。

## 売上の一部のご寄付

製品の売上の一部（定額・比率）をご寄付いただいております。  
ご寄付額については、御社の方針に基づいてご決定いただいております。

## マッチングギフト（マッチング寄付）

社員・従業員から寄せられた寄付に対し、企業・団体が同額もしくは一定の比率で上乘せをし、その総額をご寄付いただいております。

## ポイントや独自のCSR制度のご利用

顧客向けポイント制度からのご寄付、社内カンパシステム等、独自のCSR制度を利用した寄付によるご支援先としていただいております。

## 社員の皆さまによるプロボノ活動

社員の皆様の経験や技能を活かし、ジャパンハート東京事務局でのさまざまな業務をお手伝いいただいております。

## その他、独自の新しいお取り組み

その他、独自のCSRのお取り組みにて様々なご支援方法を検討頂き、「新しい支援の形」でジャパンハートをご支援くださっています。

## ジャパンハートforSDGsロゴの活用

ジャパンハートの活動を支援している旨を表明するロゴを、ウェブサイトや商品パッケージ等に掲載していただいております。

# ご支援事例：現金でのご寄付

ダイワボウ  
情報システム  
株式会社様

コロナ禍で活動する医療団体を支援するため、ダイヤモンドプランのご支援をいただきました。

ジャパンハートからのお礼として、スタッフが海外活動地で着用するユニフォームへ同社のロゴを掲載させていただきました。

また、頂いたご支援についてのプレスリリース配信や、ジャパンハートのHP、SNSでの記事掲載、吉岡秀人の講演会の開催なども行いました。

**DIS**

ダイワボウ情報システム株式会社



パナソニック  
株式会社様

新型コロナウイルス感染症拡大抑制に取り組むNPOへの支援活動「新型コロナウイルス感染症対策への募金キャンペーン」の一環として、ゴールドプランでのご支援をいただきました。

ご寄付にあたり、テレワーク環境下でのご支援を実現するため、直接パナソニック株式会社の従業員さまからジャパンハートにご寄付いただけるよう「パナソニック専用 オンライン寄付サイト」も新たに開発されています。

パナソニック 新型コロナウイルス感染症対策への募金キャンペーン



パナソニック  
従業員の皆様



ジャパンハート  
パナソニック専用  
オンライン寄付サイト



新型コロナウイルス感染症  
拡大抑制に取り組む  
日本・東アジア諸国の  
各医療機関

**Panasonic**

# CSR活動のご協力内容

ご寄付額に応じて、様々なお礼をご用意しております

シルバー  
(100万円)  
163法人

## 感謝状の贈呈、ホームページへ貴社ロゴの掲載。

感謝状を贈呈するとともに、ジャパンハートの活動内容をご確認いただけるよう、年次報告書をお送りいたします。またジャパンハート公式ホームページへ、貴社名とロゴ、リンクを掲載させていただきます。

ゴールド  
(1000万円)  
23法人

## プレスリリースの配信と、ユニフォームへのロゴ掲載。

シルバーと同様の御礼に加えて、貴社からのご支援についてのプレスリリースを配信します。また、ジャパンハートの海外活動地でスタッフが着用するユニフォームへ、貴社のロゴを掲載させていただきます。加えて、ジャパンハート公式ロゴや、「ジャパンハート for SDGsロゴ」をご提供させていただきます。弊団体へのご支援をくださっている旨お示しいただく際に、ご自由にロゴマークをご使用いただけます。

ダイヤモンド  
(5000万円)  
7法人

## 吉岡秀人の講演会実施のほか、カスタマイズレポートをご用意させていただきます。

シルバー、ゴールドの御礼に加えて、創設者・吉岡秀人からのお礼動画をお送りするとともに、吉岡秀人の講演会を実施させていただきます。また貴社向けの事業報告レポートを作成させていただく他、ジャパンハート公式コミュニティ「ジャパンハート部」へ、全社員をご招待いたします。ジャパンハート部では、支援者様向けのオンラインイベントを実施している他、支援者様同士の交流の場などを提供しています。

# ご支援事例： 自社製品・サービスの活用

大和ネクスト銀行  
株式会社様

定期預金に「金利以外の価値」を付加した預金「応援定期預金」を運用し、同社が提案に基づいてお客様が選んだ団体に、お客様のお預け入れ残高に一定割合を乗じた金額を寄付するスキームを提供。ジャパンハートを応援先として選んでくださったお客様の寄付に、同社からの寄付を上乗せして、定期的にご寄付いただいています。

加えて、同社エントランスで小児がんに関する写真展を開催するなど、多くの方にジャパンハートの活動を知っていただく機会を作るなど、さまざまな形でご支援いただいています。

大和ネクスト銀行  
Daiwa Next Bank



中外製薬  
株式会社様

同社は製薬会社として、長年日本国内の医療機関などに対し、「チーム医療推進のためのワークショップ」を提供してきました。この知見とノウハウを生かし、国籍や言語が異なり、多様な価値観を持ったスタッフがともに働くカンボジアの「ジャパンハート子ども医療センター」のスタッフを対象に、チームビルディングのためのワークショップを実施していただきました。合わせて、病院の運営費用としてのご寄付もいただいています。

すべての革新は患者さんのために

CHUGAI 中外製薬

Roche ロシュグループ

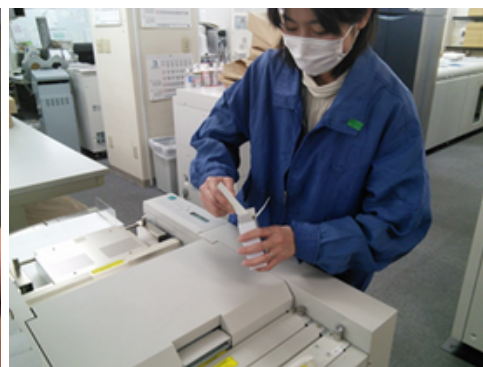


# ご支援事例： 自社商品・サービスの活用

奥村印刷  
株式会社様

スタッフの名刺の印刷を無償でお引き受けいただいています。  
奥村印刷様がジャパンハートスタッフの名刺の印刷を無償でお引き受けくださることで、その分のコストを国内外の医療活動に振り向けられるようになりました。

また同社社員が使用する自社の名刺に、ジャパンハートの活動を支援している旨を表明するジャパンハートの独自ロゴ「ジャパンハートfor SDGsロゴ」を記載頂くとともに、同ロゴが印字された名刺の印刷部数に応じてご寄付をくださっています。



# ご支援事例： 売り上げの一部をご寄付

株式会社  
アップル様

「引越し1件につき100円寄付」という形で、引越しのお引き受け件数に応じた寄付をくださっています。

同社では、2020年8月1日から2021年7月31日までの1年間の引越し件数53,147件を行い、これを受けてジャパンハートには5,314,700円のご寄付をいただきました。今後も継続的に、引越し件数に応じたご寄付をいただく予定です。

同社では、お客様にもこの取り組みについて周知していただき、お、「自分の引越しが社会貢献につながる」と、多くのお客様からご共感とご支持を頂いています。



ワクワクドキドキ、引越しを楽しく  
アップル引越センター

デルヴォー・  
ジャパン  
株式会社様

同社が発売したハンドメイドのミニチャーム「Les Miniatures NIPPON」3種類の売り上げの10%以上を、ジャパンハートが行う新型コロナウイルス感染症に対する医療支援活動のためにご寄付いただきました。

商品販売時には、店頭にて売り上げの一部がジャパンハートへの支援につながる旨をお客様にお伝えいただきました。加えて、著名人やインフルエンサーがSNSを通じて同支援について紹介、呼びかけてくださったことで、多くの皆様からのご寄付につながりました。

— 18 —  
DELVAUX  
— 29 —



# ご支援事例： 売り上げの一部をご寄付

森永乳業  
株式会社様

首都圏支社の社員様のご発案・取引先チェーンストアのご協賛による「つながるエールプロジェクト」として、製品の売り上げの一部をジャパンハートにご寄付いただきました。

これは、ご協賛いただいたスーパー、ドラッグストアなどのチェーンストアを通じて、対象商品の売り上げの一部を取りまとめていただいたものです。

同社からは、感染症拡大防止に尽力している全国の医療機関および医療従事者を支援するためのご寄付もいただきました。



限定ショッピングバッグや、クリスマス・GINZA FASHION WEEKなどのイベントに合わせた特別商品の販売、感謝祭イベントなどを行い、売り上げの一部をジャパンハートに寄付する取り組みを通して、長年ジャパンハートをご支援いただいています。

2021年3月には、「おうちで花見チャリティー！」と題し、春の2日間にわたって、各日200人のお客様に桜の枝を販売。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って外食・宴会が難しい中、お客様にご自宅で花見気分を味わっていただく機会を作るとともに、収益の全額をジャパンハートにご寄付いただきました。

株式会社松屋様



MATSUYA GINZA

# ご支援事例： 売り上げの一部をご寄付

大塚ウェルネス  
ベンディング  
株式会社様



大塚ウェルネスベンディング

大塚製薬子会社の同社が展開されている自販機では、売上の一部をジャパンハートにご寄付いただいています。

これは、自動販売機を設置いただいている企業や病院などとの合意の下、収益の一定額をジャパンハートにご寄付いただく仕組みです。寄付の割合はそれぞれ設置者のご意向に沿ってお決めいただいております。



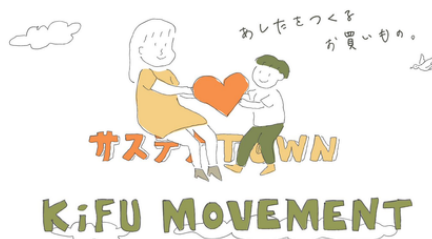
同社の自動販売機では、飲料だけではなく栄養補助食品の販売も可能です。自販機を利用するお客様の健康に貢献するとともに、医療支援のご寄付にもつながる仕組みとなっています。

株式会社KOL  
テクノロジーズ様

余剰在庫などによる廃棄をなくすため、捨てられていくアパレル商品や雑貨などをリーズナブルな価格で提供するショッピングサイト「サステナモール」を運営する同社では、「サステナモール」上でのお買い物1決済ごとに5円を寄付できるKifu Movementの寄付先団体にジャパンハートを組み入れてくださっています。

アパレルの余剰在庫廃棄を防ぎ、環境保全と医療支援を可能にした、まさにSDGs特化型の協業です。

## サステナモール



# ご支援事例： マッチング寄付

株式会社  
ジャックス様

JACCS

同社では、社員が利用するジャックスカード（クレジットカード）に付与されたポイントの一部と、その同額を同社が上乘せして寄付をするマッチング寄付の取り組みを実施されています。

2021年度の寄付先としてジャパンハートを指定いただき、海外での医療活動にご支援いただきました。



# ご支援事例： ポイント制度の活用

JFRカード  
株式会社様

同社が発行するクレジットカード「大丸松坂屋カード」を使ったお支払いで貯まる「QIRAポイント」を使って、ジャパンハートへの寄付ができるスキームを構築いただきました。

お客様がご寄付に充てられた1000ポイントにつき1000円を、ジャパンハートに寄付としてお寄せいただいています。



株式会社  
TBM様

TBMが開発した、石灰石を主原料とする環境配慮型素材、LIMEX。同社は使用済みのLIMEX製品やプラスチック製品の回収にも取り組んでおり、回収を促進する「CirculeX（サーキュレックス）アプリ」使用時に付与されるポイントの寄付先として、ジャパンハートをご選定いただいています。

専用の回収ボックスに使用済みのプラスチック製品やLIMEX製品を入れていただくことで、お客様にCirculeXポイントが付与されます。CirculeXポイントは同社が運用するECサイト「ZAIMA」やジャパンハートなどへの寄付として使用することが可能です。



T B M

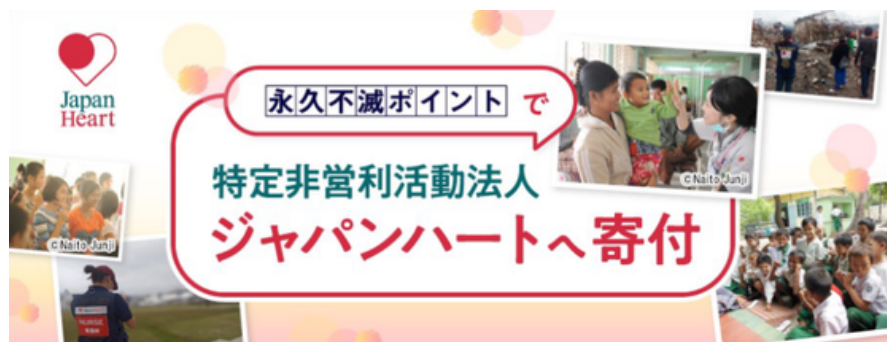
# ご支援事例： ポイント制度の活用

株式会社  
クレディセゾン様

CREDIT  
SAISON

カード利用者の使用額に応じてポイントが貯まり、貯まったポイントで様々な商品に交換できる仕組みにおいて、ポイントの交換先としてジャパンハートへの寄付を設定いただきました。

セゾンカード・UCカードのショッピング利用で貯まったポイントは100ポイント（1口）から寄付への交換ができ、同社は1口500円としてジャパンハートにご寄付くださっています。



# ご支援事例： 社員の皆様のプロボノ活動

株式会社  
LIFULL様

同社では、社員が就業時間の一定割合をボランティア活動に充てることを推奨しています。

社員の方々の得意分野を活かし、ジャパンハートが発行する冊子などのデザインや校正をプロボノとしてご担当いただいたり、東京事務局で発生する各種事務作業をボランティアとしてお手伝いいただくなど、幅広い形でバックオフィス業務を支えていただいています。

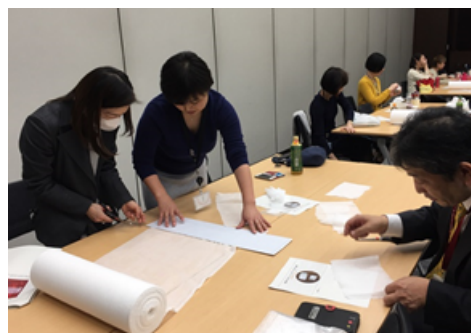


LIFULL

三菱商事  
株式会社様

同社では、ミャンマーでの二つのプロジェクト（マンダレー管区包括的医療支援プロジェクト、養育施設Dream Train食育プロジェクト）へのご寄付に加え、日本国内でもボランティア活動を行っていただいています。

社員の方向けにジャパンハートの活動をご理解いただくための講演会も実施しており、海外の医療現場で実際に使用する医療用ガーゼを手作りするなどの活動に、多くの社員の方がご参加くださっています。



三菱商事株式会社

# ご支援事例： 独自の新しいお取り組み

株式会社  
SAKURUG様



同社では12月の寄付月間に合わせ、同社独自に「思いよ届け！SAKURUGiving GO TO 2030」というチャリティーイベントを企画された際、同イベントの特設ページや各種SNSへの「いいね」「シェア」などの1アクションごとに50円を、ジャパンハートにご寄付いただきました。

「いいね」や「シェア」などの気軽なアクションが社会貢献になる分かりやすい取り組みで、幅広い方々のご寄付につながりました。



同社が本社移転を行うにあたり、「こころの花束」をご利用いただき、お祝いのお花の受け取りを辞退する代わりにジャパンハートへのご寄付を呼び掛けていただきました。

「こころの花束」は、関係各所へ移転や周年記念に関するご案内の連絡を行う際、「お祝いのお花を辞退するので、『こころの花束』を利用いただきたい」旨お知らせいただき、共感頂いた関係者様からジャパンハート宛にお花代をご寄付頂くシステムとなります。詳しくはお問い合わせください。

レッドフォックス  
株式会社様



# ご支援事例： 独自の新しいお取り組み

株式会社  
Take Action様

SDGsに取り組む団体とプロジェクトの賛同者をつなぐクラウドファンディングサイト「SDGs Action」を運営し、サイト上でジャパンハートへの支援を呼びかけてくださっています。

SDGs Actionには、THANKS GIFTという社内SNSを導入している企業の従業員も参加することが可能です。THANKS GIFTで貯めたポイントは希望する団体へ寄付することができ、福利厚生サービスを通じた寄付の仕組みでジャパンハートをご支援くださっています。

 **THANKS GIFT**  
ありがとうが組織を強くする



# ご支援事例：

## ジャパンハートfor SDGsロゴの展開



**Japan Heart  
for SDGs**

ジャパンハートの活動を支援している旨を表明する独自ロゴ「ジャパンハートfor SDGsロゴ」を2022年より展開しています。

ご支援をくださる企業・団体が、自社のウェブサイトや、冊子、ポスター等の紙媒体、自社の製品等にこの「ジャパンハートforSDGsロゴ」を掲載頂くことで、各企業・団体の皆さまがジャパンハートを支援下さっていることを多くの方々に伝えて頂けます。

ロゴの使用をご希望の方はお問い合わせください。

分譲住宅・注文住宅の契約に関して、従業員の方や住宅を購入されたお客様が、新たに住宅購入を検討されているお客様を紹介すると、紹介1件につき1,000円・成約1件につき100,000円をジャパンハートに寄付する取り組みをして頂いています。

この取り組みを紹介するご案内とともに、同社会社案内のパンフレットや、お客様にお渡しする紹介カード等に「ジャパンハートforSDGsロゴ」を掲載頂いています。

 株式会社日本中央住販

株式会社  
日本中央住販様



Japan  
Heart

## 法人税の控除について

ジャパンハートは2011年11月16日より『認定NPO法人』に認定されています。当団体へご寄付をいただいた場合、一般の寄付金の損金算入限度額とは別に、当該損金算入限度額が認められます（※詳しくは税理士にご確認ください）。

### 認定NPO法人とは

NPO法人のうち、運営組織及び事業活動が適正であること並びに公益の増進に資することについて一定の要件を満たすものとして、所轄庁の認定を受けた団体を指します。こうした団体の活動を支援するために、税制上の優遇措置が設けられています。

### 控除の対象となる寄付

個人及び法人より受ける寄付すべて（匿名寄付は対象外）

個人からの遺贈（ご遺志による寄付）や相続財産よりのご寄付は従来より基本的に控除の対象です。

### 控除の対象とならないもの

会費（正会員・賛助会員）・長期研修参加費・短期ボランティア現地医療活動費・イベント参加費・募金箱

詳しくは最寄りの税務署にお尋ねください

### 領収書について

税制の優遇措置を受けるには、ジャパンハートから発行される領収書が必要になります。

領収書はご寄付が入金された日付で発行し、発送いたします。

関連法：法法37、法令77の2、措法66の11の2、措規22の12、特定非営利活動促進法

国税庁コード：5284 認定NPO法人等に対する寄附金  
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/hojin/5284.htm>

# ジャパンハートの約束

## ジャパンハートの事業は、 以下のSDGsと結びついています。



### 貧困に、人の可能性を奪わない。

無償の医療や養育施設、視覚障がい者自立支援などを通じて、全ての人々が未来を切り開き、生まれてきてよかったと思える社会を作っていきます。

1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度および対策を実施し、2030年までに貧困層および脆弱層に対し十分な保護を達成する。

1.5 2030年までに、貧困層や脆弱な立場にある人々のレジリエンスを構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的打撃や災害に対するリスク度合いや脆弱性を軽減する。



### 健康と成長に必要な食事を、必要な人に。

ジャパンハート子ども医療センターの給食施設で、子どもたちが健康を取り戻すのに適した食事を提供しています。養育施設では、子どもたちが健やかに成長できる栄養豊富な食事を提供しています。

2.1 2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層および幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食糧を十分得られるようにする。

2.2 5歳未満の子どもの発育障害や衰弱について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養失調を撲滅し、若年女子、妊婦・授乳婦、および高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。



### 無償でも、高度な医療を提供。

途上国の医療現場で、小児がんをはじめとする高度な治療も提供しています。また、国内外の被災地では、発災直後にとどまらず、地域の医療体制が再構築されるまで支援を続けています。

3.4 2030年までに、非感染症疾患（NCD）による早期死亡を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。

3.8 すべての人々に対する財政保障、質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセス、および安全で効果的、かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンのアクセス提供を含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。

# ジャパンハートの約束

4 質の高い教育を  
みんなに



## 子どもと若者の未来に、道を切り開く。

養育施設で子どもたちに進学やキャリア教育の機会を提供しています。また、医療従事者を目指す若者を、奨学生制度によって支援しています。

4.1 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ有効な学習成果をもたらす、自由かつ公平で質の高い初等教育および中等教育を修了できるようにする。

4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワークおよび起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



## 女性の活躍を、医療と社会の発展につなげる。

周産期医療事業を通じて、女性の健康を守っています。また、人身売買のリスクのある子どもたちを、養育施設で受け入れています。女性職員の活躍の場も提供しています。

5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性および女子に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。

5.6 国際人口開発会議（ICPD）の行動計画および北京行動綱領、ならびにこれらの検討会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康および権利への普遍的アクセスを確保する。

8 働きがいも  
経済成長も



## 社会の発展を担う、人材を育成。

国際看護師研修、医療学生育成活動、視覚障がい者自立支援、養育施設でのキャリア教育などを通じて、全ての人々が能力を生かして働き甲斐のある仕事に就くことを後押ししています。

8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する。

8.6 2030年までに、就労、就学、職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

# ジャパンハートの約束

10 人や国の不平等  
をなくそう



## 社会的弱者を、一人でも少なく。

養育施設Dream Trainでは、孤児や人身売買のリスクのある子どもたちを積極的に受け入れています。また、視覚障がい者自立支援のために、ミャンマー国内の制度作りを支援しています。

10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

10.4 税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成する。

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



## 多くの人の力を、多くの人を救う力に。

さまざまな支援者の力を医療に結び付けるとともに、他の東南アジア諸国からカンボジアのジャパンハートこども医療センターへの患者受け入れ、日本からの遠隔診療などにも力を入れています。

17.3 複数の財源から、開発途上国のための追加的資金源を動員する。

17.6 科学技術イノベーション（STI）及びこれらへのアクセスに関する南北協力、南南協力及び地域的・国際的な三角協力を向上させる。また、国連レベルをはじめとする既存のメカニズム間の調整改善や、全世界的な技術促進メカニズムなどを通じて、相互に合意した条件において知識共有を進める。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS



お問い合わせ

特定非営利活動法人ジャパンハート 広報・ファンドレイジング部  
TEL:03-6240-1564 MAIL:publicity@japanheart.org